

日本特種ボディー株式会社

埼玉県越谷市

需要獲得
ものづくり

徹底した顧客目線で、安全性と快適性にこだわり 純国産オーダーメイドキャンピングカーを製造

キャンピングカーの製造・販売を専門とし、2014年に設立。設計から車内の家具の製造まで内製化。顧客のニーズにオーダーメイドで対応することで高い評価を得ており、日本全国から注文を受けている。また、同社の安全性を重視したものづくりが評価され、いすゞ自動車より堅牢なベース車両「Be-cam」の独占供給を受けている。堅牢性の高い車両と同社の高い設計力により、大容量バッテリーやソーラーパネルを多く積載可能。長期間室内で電気を使用できるなど、性能面でも優位性を構築している。

所在地 埼玉県越谷市小曾川568番地1
電話/FAX 048-970-1370/048-970-1371
URL <https://ntbcamp.co.jp/>
代表者 代表取締役 蜂谷 慎吾

設立 2014年
資本金 975万円
従業員数 45人



安全性と快適性の両立による高付加価値の製品を提供

創業以来、製品の品質、安全性にこだわり、純国産のキャンピングカーを製造。いすゞ自動車製の堅牢性の高いベース車両「Be-cam」の性能を最大限活かした設計を行う。安全性を保ちながらも、大容量のバッテリーや多数のソーラーパネルを搭載し、長期間室内で電気を使用することが可能。快適性の高いキャンピングカーを提供している。また、シックハウス症候群を防ぐため、日本の住宅の建築基準であるF☆☆☆☆(フォースター)に準じた化学物質の検査を実施。徹底的に顧客目線のものづくりを行っている。



快適性の高いキャンピングカー

生産力向上のため、海外生産に挑戦

高付加価値のオーダーメイドキャンピングカーを製造し、好評を博している一方、量産体制はできておらず、生産数量の拡大を課題としている。そこで、同社はオーダーメイドモデルは国内で、量産モデルは海外で生産する計画を推進。外国人技能実習生を多数受入れ、人材育成に取り組むことで、帰国後に海外工場での生産を行えるよう準備を進める。同時に、海外工場設立後も品質の低下を防ぐため、ベテラン工員の技術のマニュアル化を進める。工員全員が同レベルで作業できる環境整備に取り組んでいる。



キャンピングカー製造の様子

カーツーリズムの推進で、地域活性化に貢献

同社が加盟し、代表が副会長を務める一般社団法人日本カーツーリズム推進協会と協業し、自治体に対するカートラベルの普及促進に取り組んでいる。温泉施設の駐車スペースなど、カーツーリズムのインフラ整備を進めることで、地域の観光需要創出に貢献。宿泊施設を作れない国立・国定公園を保護しつつ、持続可能な観光資源としての活用を促進している。また、地震や台風などの災害現場において、復興作業の基地局として利用できる「災害対策キャンピングカー」の開発に取り組むなど、社会貢献活動にも力を入れる。



カーツーリズム推進協会との災害協定

需要獲得

ものづくり